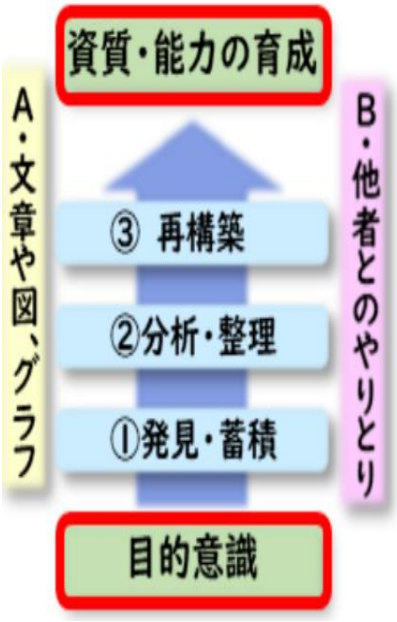
多　賀　小　学　校

のびのび学習だより

6月号

令和7年（2025 年）
6月 13日

自ら考え、表現できる子どもの育成をめざして



「学ぶ力」・「夢と生きる力」を育む取組として学ぶ力向上滋賀プランがスタートして７年目となります。

本校でもこの『読み解く力』の視点を踏まえた授業づくりに取り組み、学習にはもちろん、社会で様々な人と関わっていく中でも大切な力「表現する力」の育成をめざします。

各教科において『読む・書く・話す・聞く』の言語力向上のための活動をさらに日常的に継続し習慣化をしていくための取組みを行います。火・木・金曜日の朝、のびのび学習タイム（15 分間）の火曜日の始めの５分間は、『全校音読』に取り組んでいきます。学年に応じた様々な文章や詩を、はっきりと・適度な声量を出すことを積み重ねたり、各学年の取組を全校に発表する「のびのび集会」を年間６回開催し、表現する機会を設けたりしています。木、金曜日には、漢字の習熟アップや、語彙力アップに向けての学習を行っています。漢字学習については、タブレット学習なども取り入れていますが、熟語で覚え、正しく書くことができる力が大切です。家庭学習でも繰り返し練習し、意味を理解して使えるようになることをめざします。

３年生以上は、辞書を活用し語彙を増やします。辞書を引くことで、同音異義語も同時に目にすることになり一石二鳥です。辞書引きは練習が必要です。ご家庭でもリビングに辞書を置いていただき、ニュースや番組で出てきた言葉を辞書で調べると楽しく学べます。親子のコミュニケーションとしてもいかがでしょうか。ちょっと意識するだけで日常的な学習活動が充実したものになります。今後も毎日の積み重ねを大切にして、「継続は力なり」で取り組んでいきたいと思います

★表現する機会として・・・

のびのび集会

のびのび学習タイムの『全校音読』では、学年に応じた様々な文章や詩を、はっきりと発音し適度な声量で音読することを積み重ねています。

今年も表現の場として、その音読の成果や、行事後の思い等を発表する『のびのび集会』を全校集合型で開催し、全校が全員の前で発表する場を設けています。

第１回目は、６年生が修学旅行の思い出を俳句にして発表しました。一人ひとりの２日間の思い出が伝わる発表でした。

避難訓練を実施しました

多賀小では学期に年に４回避難訓練を実施しています。犬上分署の方に来ていただき、避難のポイントなどを聞きました。訓練も大切な学習の１つと捉えています。

２年・３年　町探検

生活科・社会科の時間に多賀町の町探検に出かけています。そして、多賀町の魅力を発見・発信していきます。

身近な地域で見つけた物や場所について自分の生活と結びつけながら探検します。２年

興味のある場所を選択し、多賀町の地図作りの学習につなげます。３年

栽培活動

１，２年は生活科、３年は理科の学習で栽培活動を行っています。

毎日水やりをして生長していく様子を日々観察しています。また、総合的な学習の時間に、ＪＡや地域の方のご協力をいただき、大根・サツマイモ・米の栽培をしています。他にも様々な方にたくさんお世話になっています。

「何色の花がさくかな。」楽しみにしながら毎日水やりをしています。１年

実ができるのを楽しみに、生長の様子を観察しています。２年

初めての５年生田植え。初めて田んぼに入った児童もたくさんいました。５年

【栽培しているもの】１年：アサガオ
２年：ミニトマト　３年：ホウセンカ・ひまわり　４年：サツマイモ・ひょうたん・へちま　５年：米

ブラッシング指導

歯科衛生士の方からおやつやジュースに含まれる砂糖の量、かむことの大切さ、高学年では歯肉炎についての話を聞き、正しい歯みがきの仕方を教えていただきました。小学校６年間の指導の積み重ねが毎日の歯みがきの意識づけにつながります。

ホールの子

５月２９日に４年生がびわ湖ホールで行われた「ホールの子事業」に参加しました。「ホールの子事業」とは、滋賀県の児童を対象に、舞台芸術に触れる機会を提供し、豊かな心や感受性を育むことを目的とした事業です。

オーケストラ演奏と声楽アンサンブルの音楽鑑賞をしました。

琵琶湖の恵み給食

給食では琵琶湖の魚が登場します。６月は「こあゆのあめ煮」をいただきました。少し苦みがある魚ですが、おいしく味付けをされていたので、残菜も少なく頭からしっかり食べることができました。

地場産物を取り入れるなど、メニューの工夫もしています。